

直方市史に登場する「筑豊炭田」

直方市史下巻（昭和五十三年一九七八年発行）の「文学作品にあらわれた直方」で舌間信夫氏が次の作家と作品を紹介しています。

- ① 森鷗外の「小倉日記」
- ② 林芙美子の「放浪記」
- ③ 夢野久作の「犬神博士」など
- ④ 橋本英吉の「筑豊炭田」

これまで①～③について紹介してきました。文庫化されて入手可能なこれらの作品と異なり④は入手が困難ですが、明治時代の筑豊炭田の歴史が描かれ、直方が重要な舞台として登場しますので紹介します。

橋本英吉とは

橋本英吉（一八九八～一九七八）は本名・白石亀吉。現在の築上郡吉富町に生まれ、田川の伊田小学校を卒業後に三井田川坑に勤務し、上京後は印刷工などを経て作家に。

当初は横光利一の影響を受けましたが、後にプロレタリア文学の作家になりました。

小説に関する逸話

① 芥川賞候補に

昭和十七年一九四二年下期の第十六回芥川賞に「柿の木と毛虫」が候補作になりましたが、残念ながら受賞はなりませんでした。

選考委員（宇野浩二・佐佐木茂策・久米正雄・川端康成・滝井孝作）の選評によると、もはや新人ではなく中堅作家との評価でした。

② 映画の原作に

昭和二十三年一九四八年の「富士山頂」が同年公開の同名の新東宝映画（藤田進・原節子主演）の原作になりました。

同名の映画（石原プロ製作・日活配給。昭和四十五年公開）は新田次郎の同名の原作で、山頂での困難な気象観測は共通しています。

長編歴史小説「筑豊炭田」

昭和十八年一九四三年に今日の問題社から出版されました。筆者はネット検索で古書店から購入しましたが、戦時下の物資不足のため紙質・製本とも最悪の状態です。

ときどき検索していますが、かなりの高値がついています。直方市立図書館では閉架書庫に収納され貸出しはできません。

主人公は中泉に自宅があり、父親は元福岡藩士で炭鉱経営に失敗して自決。本人は後に排水ポンプの技術者になりますが、明治六年頃一八七三年で十八歳という設定で、作中で明治九年一八七六年の秋月の乱の敗残兵に遭遇してストーリーが展開し、新たな出会いが生まれます。直方が舞台として登場するのは、明治二十四年一八九一年の筑豊興業鉄道直方駅の開業、明治三十年代の藤棚坑および本洞坑の火災。炭鉱主が集う筑紫亭などです。

麻生太吉・貝島太助など実在の人物が次々に登場して活躍しますので次号で紹介します。

「筑豊炭田」
（初版本の扉）

橋本英吉の文学碑

田川市石炭・歴史博物館前の石炭記念公園の中にあります。



直方の歴史と文化

文 榊 正 澄

文化財に関する問い合わせ：文化・スポーツ
推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口 56,412 人（－226） ■世帯数 27,318 世帯（＋146）
[うち外国人 622 人]
男 26,662 人（－68） すべて令和 2 年 7 月末現在
女 29,750 人（－158） （ ）は前年同月との比較

<発行>直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町 7 番 1 号
URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
<発行日>毎月 1 日（月 1 回）
<編集>秘書広報課秘書広報係
TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107
E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

インターネット
情報提供サービス

SNS や web サイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるおがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで